Dell™ NetVault™ Bare Metal Recovery Plug-in Live Client for Linux® 10.5

リリース・ノート

2015 年 7 月

これらのリリース・ノートには、Dell™ NetVault™ Bare Metal Recovery Plug-in Live Client for Linux® リリースに関する情報が記載されています。

トピック：

- 本リリースについて
- 新機能
- 解決済みの問題
- 既知の問題
- システムの要件
- 製品ライセンス：
- アップグレードおよびインストールの手順
- その他のリソース
- グローバリゼーション
- Dell について

本リリースについて

NetVault Bare Metal Recovery Plug-in Live Client for Linux 10.5 は、拡張機能が含まれたマイナー・リリースです。製品のドキュメントは下記サイトからご覧いただけます。
http://support.software.dell.com/ja-jp/

> **重要：** NetVault Backup はバージョン 10.0 から、NetVault Backup システムを設定、管理、および監視するための、Web ベースのユーザー・インターフェイス（WebUI）を提供しています。このバージョンの製品のユーザーズ・ガイドに記載されている手順は、この新しい WebUI を使用することを前提にしています。NetVault Backup コンソール（NetVault Backup 9.x のユーザー・インターフェイス）による手順についての詳細は、以前のバージョンの製品ドキュメントを参照してください。

新機能

NetVault Bare Metal Recovery Plug-in Live Client for Linux 10.5 の新機能：

- ボリューム・ラベルとボリューム UUID のサポートが追加されました（27595、17402、VLG-212）。
- CentOS 6.6™ および Red Hat Enterprise Linux®（RHEL）6.6 のサポートが追加されました（28127）。

解決済みの問題

本リリースで対処された問題は以下のとおりです。

表 1. 解決済みの一般的な問題

解決済みの問題	問題 ID
バックアップのリストアを妨げていた問題が修正されました。Storix® の問題により、ユーザーに表示されない `lvcreate` コマンドで必要な応答を受信できませんでした。	29310

既知の問題

サードパーティ製品に起因する問題を含む、リリース時に確認されていた問題は以下のとおりです。

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
Red Hat® Enterprise Linux®（RHEL）5.1 クライアントのバックアップが、以下のエラーを伴って失敗する場合があります。 `Cannot find the Xen® hypervisor file which the system was booted with.Without this, it is not possible to perform a system installation.You should create the file /storix/config/multibootfile with a line specifying the full path to the hypervisor file and recreate the boot media.`（システムを起動した `Xen` ハイパーバイザ・ファイルが見つかりません。これを使用しないと、システムのインストールを実行することができません。`/storix/config/multibootfile` ファイルを作成し、ハイパーバイザ・ファイルへのフル・パスを指定する行を追加してから起動メディアを再作成してください。）」 **対処法**： 1 「**/boot/grub/grub.conf**」を開き、マシンの起動元のセクションを検索します。 以下の形式に類似しているはずです。`kernel /xen.gz-2.6.18-53.el5` 2 ファイルを作成して「**/storix/config/multibootfile**」という名前を付け、以下の例に示すようなハイパーバイザー・ファイルへのフル・パスを指定する行を追加します。 `/boot/xen.gz-2.6.18-53.el5`	17294（VLG-110）、17342（VLG-156）
リストアは正常に完了したが、マウント済みパーティションのサイズが変わり、一時ファイル・システムがマウント解除されないことがあります。この場合、一時ファイル・システム（tmpfs）を手動でマウントするか、システムの起動時に「**/etc/fstab**」を編集してマウントします。	17302（VLG-118）

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
SCSI またはネットワーク・デバイスが起動時に Storix® 起動メディアから利用できない場合、デバイス・モジュールが起動メディアに含まれていない、あるいはマスター・モジュール・ファイルにリストされていないと示されることがあります。 **対処法**： 見つからない SCSI やネットワーク・デバイス・モジュールを追加するには、起動メディアが作成されるクライアント上で以下の手順を実行します。 1 以下のコマンドを実行して、カスタム・ディレクトリに元の「ブートリスト」ファイルをコピーします。`# cp /opt/storix/config/bootlist_scsi /storix/config/bootlist_scsi` ネットワーク・ドライバにエントリを追加する場合は「**bootlist_network**」ファイルを使用し、SCSI ドライバにエントリを追加する場合は「**bootlist_scsi**」ファイルを使用する必要があります。 2 カスタム・ディレクトリで「**bootlist**」ファイルを開き、**#$ SCSI adapters** 行の下に SCSI デバイス・モジュールを追加して、"**#$ Ethernet Network Adapters** 行の下にネットワーク・デバイス・モジュールを追加します。 モジュールを追加するには、以下の形式を使用します。**#MOD:S: モジュール名：詳細** **例**：#MOD:S:dc395x_trm:DC-395U SCSI adapter support	17317 （VLG-131）
Ubuntu® クライアントで、リストア後に Storix 管理シェルが **maint>** を返しません。これは Ubuntu 内で **/bin/sh** が **/bin/dash** にリンクされているためです。このため、リストア完了後 Storix は新たにリストアされたルートで **chroot** を実行して **/bin/sh** を呼び出しますが、このシェルにはプロンプトがひとつも表示されません。	17346 （VLG-161）

本プラグインでは、暗号化されたパーティションをサポートしません。暗号化パーティションを有効化した場合、バックアップは以下のエラーを伴って失敗します。
`Warning: Volume Group VolGroup00 will be ignored because it contains physical volume mapper/luks-bfb0ef38-6066-4d0e-9e15-8c5fbe53ee4f, which is not a supported device type.`
`Error: The / filesystem exists on the system but is not included on the backup because it is in a logical volume you did not select to include.You must include volume group VolGroup00 on a system backup.`
	17361
	（VLG-175）

Storix を使用している場合、同じディスク・サイズの同一クライアントまたは異なるクライアントをリストアすると（これらのいずれかが論理グループやボリュームの一部として設定されているなど）、以下のメッセージが表示されることがあります。 `The following non-fatal errors must be corrected before continuing: Disk sdb: This disk is not large enough for the partitions as they are currently defined.You must reduce the space requirements on this disk by at least 7MB by removing the partitions or reducing their sizes.`（致命的ではありませんが、継続する前に以下のエラーを修正する必要があります：`Disk sdb：` このディスクには、現在定義されているパーティションに対して十分な空き容量がありません。パーティションを削除またはサイズを小さくすることにより、このディスク上で必要な容量を少なくとも `7MB` まで削減する必要があります。）」 **対処法**：Storix 内の［**View/Change Installation Settings**］機能を使用して、パーティション・サイズを調整します。	

表 2. 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
複数ディスクにまたがったストライプ化論理ボリュームを再作成するためにリカバリ・プロセスを許可するには、ストライプ・サイズを手動で変更します。 1 Storix の**メイン・メニュー**から、[View/Change Installation Settings] > [Logical Volume Management] > [Add or Change Logical Volume] を選択します。 2 利用可能なボリュームを選択し、[Enter] を押します。 3 [Stripe Size] を「0」から元々設定されていたサイズに変更します。 4 **メイン・メニュー**に戻り、各選択画面上で F3 を押します。	

システムの要件

NetVault Bare Metal Recovery Plug-in Live Client for Linux 10.5 をインストールする前に、ご使用のシステムが以下の最小ハードウェアおよびソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。

ソフトウェアの要件

表 3. 必要条件

プラットフォーム
Linux® x86（32-bit）
Linux® x86-64（32/64-bit）

サポートされる Linux® オペレーティング・システム

表 4. 必要条件

プラットフォーム	バージョン	ビット・モード
CentOS™	5.1 から 5.10	32/64
CentOS™	6.1 から 6.6	32/64
Debian®	5.0, 6.0	32
Novell® Open Enterprise Server（OES）Linux	2	32/64
Red Hat® Enterprise Linux®（RHEL）	4.x	32/64
RHEL	5.1 から 5.10	32/64
RHEL	6.1 から 6.6	32/64
SUSE® Linux Enterprise Server（SLES®）	10.x	32/64
SUSE® SLES®	11.x	32/64
TurboLinux®	11.x	32

表 4. 必要条件

プラットフォーム	バージョン	ビット・モード
Ubuntu®	10.04, 10.10	32/64
Ubuntu®	11.04	32/64

サポートされている仮想マシン（VM）プラットフォーム

表 5. サポートされている VM

プラットフォーム	バージョン
VMware® ESX® Server	3.5, 4.0, 4.1
VMware® ESXi™	3.5, 4.0, 4.1, 5.0, 5.1, 5.5

アップグレードと互換性

サポートされるプラットフォームについての詳細は、『Dell NetVault Backup 対応リスト』を参照してください。

64 ビット専用ビルド

NetVault Backup 8.6 では、「LinuxX86Pure64」という名前の新しいビルド・タイプが追加され、Linux® バージョンの 32 ビット専用ビルドの提供は終了しました。この変更による影響については、以下を参照してください。

- **ハイブリッド 32/64 ビットのビルド**：ハイブリッド 32/64 ビットのビルドの提供は継続されます。ただし、プラットフォーム・タイプの名前が「LinuxX8664」から「LinuxX86Hybrid」に変更になりました。このビルドは、64 ビット専用ビルドの要件を満たさない Linux ユーザーのための標準ビルドとして機能します。このビルドは、NetVault Backup の 32 ビット専用ビルドおよびハイブリッド・ビルドからアップグレードすることができます。

  LinuxX86 ハイブリッド・ビルドは、以前のバージョンのすべてのプラグイン（32 ビットおよび 64 ビット用の両方）のバイナリ互換性を保持します。また、このビルドは 64 ビット互換性のない 32 ビット・システムでも実行できます。

- **64 ビット専用ビルド**：「LinuxX86Pure64」という名前の新しいビルド・タイプが 64 ビット専用 Linux ディストリビューション向けに導入されました。32 ビット・コンポーネントを使用することができない理由がある場合は（たとえば、32 ビット・コードを実行しない Linux ディストリビューションを使用中など）、このタイプを使用します。ただし、既存の NetVault Backup インストールのアップグレードにこの新しいタイプを使用することはできません。既存バージョンを削除してから、64 ビット専用バージョンをインストールしてください。混乱を防ぐため、アップグレードおよびインストール・パッケージの両方に警告メッセージが追加され、両者に互換性がないことを確認できるようになりました。

表 6. 64 ビット専用ビルド

OS	コア・ビルド	プラグイン				
		32bit	64bit	Hybrid	Itanium	Pure64
32bit	32bit	X		X		
	Hybrid	X		X		
64bit	Itanium				X	
	64bit		X	X		
	Hybrid		X	X		
	Pure64					X

X = 互換性あり
プラグインによっては 64 ビット専用ビルドをサポートしていません。

製品ライセンス：

NetVault Backup Server 環境でライセンス・キーを取得するには、メイン NetVault Backup Server の NetVault マシン ID を確認します。また、Oracle® や MySQL, PostgreSQL、SQL Server®、Exchange などのアプリケーション・プラグインを実行しているクライアントのマシン ID も確認する必要があります。

NetVault 設定ウィザードを使用して、製品のライセンス・キーをインストールできます。あるいは、［クライアント管理］ページからライセンス・キーをインストールすることもできます。

マシン ID を取得するには：

1 NetVault Backup WebUI を起動します。
2 ［ナビゲーション］パネルで、**［クライアント管理］**をクリックします。
3 **［NetVault Backup Clients］**リストで利用可能なマシンを選択し、**［管理］**をクリックします。
4 **［クライアント表示］**ページで、マシン ID と正確に同じものが**［クライアント・サマリ］**テーブルに表示されます。

設定ウィザードを使用してライセンス・キーをインストールするには：

1 **［ナビゲーション］**パネルで、**［ガイド付き設定］**をクリックします。
2 **［NetVault 設定ウィザード］**ページで、**［ライセンスのインストール］**をクリックします。
3 **［NetVault Backup Clients］**リストで利用可能なマシンを選択し、**［次へ］**をクリックします。
4 **［ライセンス キー文字列の入力］**ボックスに、ライセンス キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、**［適用］**をクリックします。

   キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

［クライアント管理］ページからライセンス・キーをインストールするには：

1 **［ナビゲーション］**パネルで、**［クライアント管理］**をクリックします。
2 **［NetVault Backup Clients］**リストで利用可能なマシンを選択し、**［管理］**をクリックします。
3 **［クライアント表示］**ページで、**［ライセンスのインストール］**をクリックします。

4 ［**ライセンスのインストール**］ダイアログ・ボックスに、ライセンス・キーを入力するか、またはコピーして貼り付けて、［**適用**］をクリックします。

キーが正常に適用されると、メッセージが表示されます。

5 ダイアログ・ボックスを終了するには、［**閉じる**］をクリックします。

アップグレードおよびインストールの手順

- v3.1 より前のバージョンからアップグレードする場合、そのバージョンのプラグインを削除します。プラグインの削除についての詳細は、『Dell NetVault Bare Metal Recovery ユーザーズ・ガイド』を参照してください。
- 本プラグインの以前のバージョンからアップグレードする場合、すべてのクライアントおよびサーバーを同じバージョンでアップグレードします。(21748)
- インストールについての詳細は、『Dell NetVault Bare Metal Recovery ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

その他のリソース

以下から追加情報を入手できます。

- オンライン製品ドキュメント
- NetVault

グローバリゼーション

ここでは、北米以外の地域のお客様に必要な、この製品を英語以外の言語設定でインストールして構成する方法を説明します。このセクションで説明する内容は、他の製品マニュアルに記載されているサポート対象プラットフォームや設定などの情報に代わるものではありません。

本リリースでは、シングル・バイトまたはマルチ・バイトのあらゆる文字セットに対応しています。また、多言語データの同時操作をサポートしています。このリリースを利用できる対象地域は次のとおりです。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

本リリースは、中国語（簡体字）、フランス語、ドイツ語、日本語、および韓国語向けにローカライズされています。

Dell について

Dell は、お客様の声に耳を傾け、お客様の信頼に応えて、価値ある革新的なテクノロジ、ビジネス・ソリューションおよびサービスを世界中に提供しています。詳細は、http://www.software.dell.com/jp-ja を参照してください。

Dell へのお問い合わせ

製品に関するご質問および製品のご購入：03-5908-3511

電子メール： info.jp@software.dell.com

テクニカル・サポート用リソース

テクニカル・サポートは、有効な保守契約が付属する Dell ソフトウェアを購入している場合、または試用版を保有している場合にご利用いただけます。サポート・ポータルにアクセスするには、https://support.software.dell.com/ja-jp に移動してください。

サポート・ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ・ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。また、サポート・ポータルでは、オンライン・サービス・リクエスト・システムを使用して、製品サポート・エンジニアに直接連絡することもできます。

サポート・ポータルでは次のことを実行できます。

- サービス・リクエスト（ケース）の作成、更新、および管理。
- ナレッジベース記事の参照。
- 製品に関するお知らせの入手。
- ソフトウェアのダウンロード。試用版ソフトウェアを入手するには、http://software.dell.com/trials にアクセスしてください。
- 入門ビデオの閲覧。
- コミュニティ・ディスカッションへの参加。

Copyright© 2015 Dell Inc. All rights reserved.

本製品は米国および国際的な著作権法および知的財産保護法によって保護されています。Dell™、Dell ロゴ、および NetVault は米国またはその他の司法管轄区域における Dell Inc. の商標です。CentOS、Red Hat、および Red Hat Enterprise Linux は、米国および他国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。Debian は、Software in the Public Interest, Inc. の登録商標です。SQL Server、Windows、および Windows Server は、米国および他国における Microsoft Corporation の登録商標です。Linux は、米国、他国、またはその両方における Linus Torvalds の登録商標です。Novell および SUSE は、米国および他国における Novell, Inc. の登録商標です。SLES は、米国および他国における Novell, Inc. の商標です。Storix は、米国および他国における Storix, Inc. の登録商標です。TurboLinux は、TurboLinux, Inc. の登録商標です。Ubuntu は、Canonical Ltd. の登録商標です。Oracle は、米国またはその他の国、あるいはその両方における Oracle の登録商標です。VMware、ESX、および ESXi は、米国またはその他の司法管轄区域、あるいはそれらの両方における VMware, Inc. の登録商標または商標です。Xen は、Citrix Systems, Inc. およびその子会社の登録商標であり、米国特許商標局および他国で登録されている可能性があります。商標や商品名を有する事業体、またはそれらの商品を表すために、他の商標および商品名が本書で使用されている場合があります。Dell は、第三者の商標や商号の独占的所有権を否認いたします。本書に記載されたその他のすべてのマークおよび名称は、各社の商標である可能性があります。

凡例

注意：注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを表しています。

警告：警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。

重要、**メモ**、**ヒント**、**モバイル**、または**ビデオ**：情報アイコンは、サポート情報を表しています。